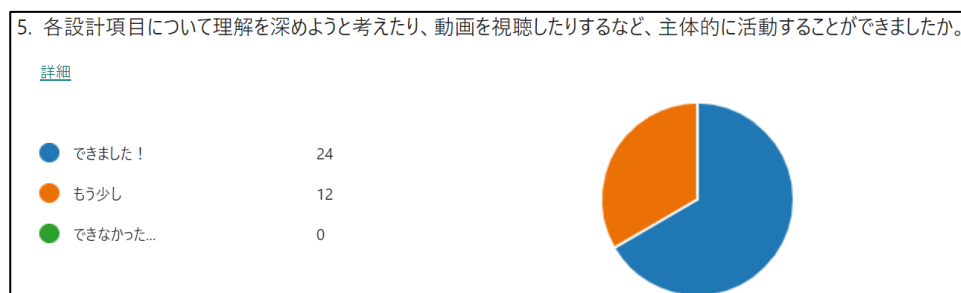
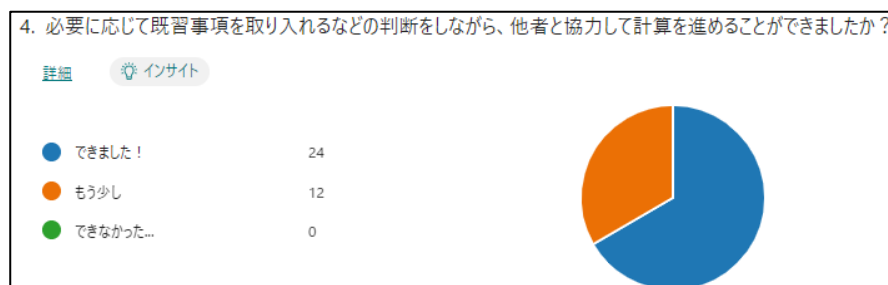
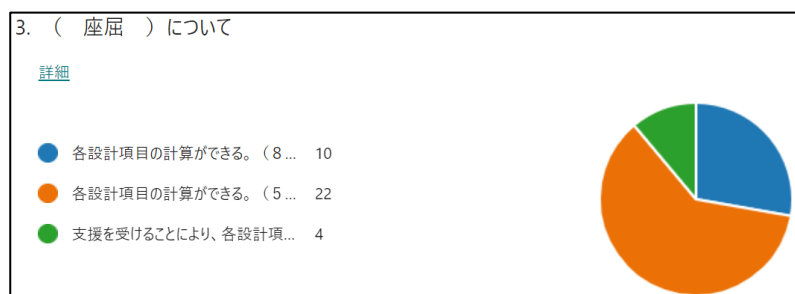


(11月9日実施分)

ルーブリック：授業の始めに提示、まとめの自己評価の前に再提示

A:知識及び技術		B:思考力・判断力・表現力等		C:主体的に学習に取り組む態度	
応	各設計項目の計算ができる。 (8割以上) また、これらのことについて、人に説明することができる。	応		応	
標	各設計項目の計算ができる。 (5割以上)	標		標	
基	支援を受けることにより、各設計項目の計算ができる。	基	必要に応じて既習事項を取り入れるなどの判断をしながら、他者と協力して計算を進める。	基	各設計項目について理解を深めようと考えたり、動画を視聴したりするなど、主体的に活動している。

評価シート：自己評価についてはQRコードを使用してMicrosoft Formsでも回答してもらった



機械製図の学習の目的は？

生産現場において、図面を理解し、適切な作業が行えるようになること

設計の手順やその裏にある理論を理解し、設計を実践できるようになること（発展として CAD に移れる）

製図作業における技能面の向上（効率よくきれいな図面を描き上げる）

知識・技能（技術）

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

知識・技能や思考・判断・表現に関する目標を達成するために必要な要素であり、この評価を授業のメインとして授業設計をすることは現実的ではない

また、受講者 40 名を想定した際に、授業 1 時間ですべての生徒が主体的に学習に取り組んでいるかを評価することも難しいと考えられる。

① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面

② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

今年度は、すべての工業高校の機械系学科で開講されている機械製図についての研究を行った。